

大阪府保育士会だより

ほほえみ

平成19年4月1日

第75号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

「これから幼児教育を担う保育者の育成」—保育者に求められる課題解決能力とは—というテーマのフォーラムが3月17日クレオ大阪南で開催されました。

私共保育士会会长がパネリストの一人として関わっておられたことと、今保育所保育の担う教育とはを問われていることを考える機会にしたいと思い、研修に参加しました。国立特殊教育総合研究所理事長の小田豊先生の御講演があり、「新しい時代に対応した教育の在り方を考える」と題してのお話を聞かせていただきました。

「幼児教育は生涯にかかる人間形成の基礎をつかう重要な時であることを今あらためて見つめ直して欲しい。保育にあたり適当な環境を準備し、一人ひとりにとつてふさわしい環境であることに意味がある。」幼児期の育ちを見守るのに「適切」を用いることは、「いいかげん」ではない。

「適切」という表現をつかって、一人ひとりを決めつけたことばにしてしまわないところに意義深さがある。

豊先生の御講演が、小田理事長の小田豊先生の御講演があり、「新しい時代に対応した教育の在り方を考える」と題してのお話を聞かせていただきました。



武内会長
大阪府
パネリストの武内会長は、多くの様に
なりたいかを考え、なつて良かつた自分が存在する様になる」と、とてもすばらしい講演でした。

フォーラムの中で会長が
「子どもと一緒に楽しくすごすこと、あそびを通して人間性を育てることが大切。適性ある保育士に成長するには、日々子どもと楽しさを増やし、失敗をいやがつて、打たれ弱くならざ、少しのことでもげない育ちが望まれる」と発言があり、なるほどどうなづきながら、近道を好まず、道草しながら多くの経験を保育の糧にすることを学ぶところに意義深さがある。



「くつろぎ」も入れられ

育児相談・おしゃべりタイム

開園1年目に取り組んだ保育体験事業「コアラくらぶ」は、園の保育を知ってもらおうと、参加者を募集し、抽選で地域の親子1・2歳児各3組の参加が決まりました。

内容は、クラス活動や園行事への参加など、子どもが主役の時間と、園長や看護師も加わって、育児の合間にホット一息できる育児相談やおしゃべりタイムを計画しました。これからも地域子育て支援を工夫していきたいです。

茨木市 彩部保育園



ふれあい楽しむ

多彩なプログラム



寝屋川市 寝屋保育園

親子のふれあいを目的に、遊びや体验プログラムがぎっしりつまつた「キッズぱあく」を2月に開催しました。地域の小さな子どもたちを招待し、園児と一緒に親子での製作や、ふれあうぬくもりを感じる体験を楽しみました。初めは、周りの様子に圧倒された子どもたちが、遊びに集中し、親子が笑顔で向き合う様子に心が温まります。この出会いをつけていくことの大切さを感じた一日でした。

ほほえみ

子どもの視点第1に

中堅保育士研修会

中堅保育士
研修会が、11
月17日、講師

に桜花学園大
学の川原佐公
教授を迎へ、
大阪社会福祉
指導センター
で行なわれま
した。



えました。保育所保育指針
の歴史を振り返りながら、

他の専門機関との連携を
はじめ、自らの行なう保育
について、常に子どもの視

点に立つて、自己評価を行
ない、保育の質の向上を図
り方を実践例を交えなが
らわかりやすくご指導下さ
いました。

後半は、「全国保育士会
倫理綱領」を踏まえながら、
お話を進められ、職場にお

けるチームワーク、関係す
る他の専門機関との連携を
はじめ、自らの行なう保育
について、常に子どもの視

点に立つて、自己評価を行
ない、保育の質の向上を図
り方を実践例を交えなが
らわかりやすくご指導下さ
いました。

（南海愛児園）



全国保育士研修会

京に集う
育てる側も育つ日々
全国保育士研修会

が、1月22日から24日まで
3日間の日程で、京都市の
京都テルサ・ぱるるプラザ
で開催されました。

第33回全国保育士研修会
会・富田喜代子副会長の開
会挨拶のあと、厚生労働省雇用均等・

児童家庭局保育課為石摩利夫課長補佐から、保育の動向と課題につ

いて行政説明がありました。

講演は、日大大学人間社会学部山崎見資教授の「発達と障害を考える」でした。バイザーの奥川幸子さんが、

改訂のポイントとなり、子どもが主体的になる「保育」という新しい時代となっていました。その後、平成2年、

5領域（環境・健康・人間関係・言葉・表現）の中で

も環境による保育が大きくな

りました。これにより幼稚園教育要領に相当するものが必要であるということ
が強くなり、「教育」という形にとらわれ、個性の出

す。子育てを楽

しみ、そして子育てによって自分自身が育てられていくのです

と締めくくられました。

第2日目は、講義と演習によ

る7つのコース別に行なわれました。対人援助技術の実践ではスープー

ルを全員で唱和して、決意を

十分理解して努力していく

親は子どもの発達の障害と密接に関連しています。軽度発達障害は、すぐに判断ができず長い経過をたどり診断されます。親は子どもの発達段階を熟知しています。軽度発達障害は、のニーズを受け止め、相手の立場に立つてそれを代弁

をして、子どもと保護者のニーズを受け止め、相手の立場に立つてそれを代弁

を一方的な評価で非難しないことなどを、学びました。

第3日目は、全国保育士会・御園愛子会長から「保育士の役割と全国保育士会の活動」について総括報告

がありました。相談者との信頼関係を築き、気持ちを受け入れ、相談者が

心として家庭支援する責任と役割があり、新しい保育

上をめざして、一人ひとりが自分の保育を日々見つめな

おし、全国保育士会倫理綱領をもとに、使命や役割を



よう、と話されました。最後に、倫理綱領の前文について実践例に基づきわ

していこうとも、重要な役割と考えて行動し、保育士一人ひとりのスキルアップや保育士自身の豊かな人間性を高めていくことが必要と、お話ししました。

（南海愛児園）

ほほえみ

保育第三者評価では、調査員が皆さんの保育園に伺つて調査を行ない、評価決定委員会がこの調査内容にもとづいて評価決定をする仕組みとなっています。評価の方法は、主として事実確認と観察のこつから構成されています。事実確認では、たとえば「これについての文書はありますか」「記録はありますか」と尋ねるわけです。また観察では、実際の保育を観察しつつ、保育士に対し配慮していること、工夫していることを聞き取ることになります。

さて、評価基準のなかで、マニュアルが作成されるかどうかを尋ねる項目が幾つかあります。受審の準備をされている保育園では、マニュアルの作成に取り組まれていますか。たとえ良い保育を実践していても、幾つかの項目については、マニュアルがないとよい評価がえられませんので、十分注意してください。

保育士の皆さんの中には、「マニュアルなどは、実際に保育には役立たない。保育の質を評価するならもう一つ保育の実践を丁寧にみてほしい」という意見が根強くあります。承知しています。



大阪府立大学人間社会学部
社会福祉学科

関川芳孝教授

確かに、保育実践の具体的な場面において、保育士がマニュアルを開いてどう対応するか考える姿など、考えられません。また子どもは、保育士は何によつて行動したら良いのでしょうか。「保育士一人ひとりの経験にもとづいて、子どもの最善利益に配慮して保育すれば、おのずと質の高い保育が実践されるはず」と考える保育士もいるかもしれません。しかし、こうした個々の保育士の対応にまかせる方法では、個々の保育士の理解や経験などによつても違いますから、かなりのバラつきが生じてしまいます。

こうしたバラつきを少しでも小さくするために、保育園のなかで具体的な保育の場面を想定し具体的なスタンダード、すなわち自園の保育士がよりどころにするべき標準的な保育の姿を明らかにし、その水準での保育の実践を求めていくことが大切です。こうした取り組みが、子どもの育ちに対し一定水準以上の保育の質を約束することにもつながるからです。

第三者評価では、保育園における食育とそのすすめ方についての講師 小川雄二氏

中堅保育士研修会 「子どもを一人ひとり大切にする保育」不適切な対応を起こさないためには―― 講師 農野寛治氏

近畿ブロック保育研究集会(大阪市) ①7月27日 ②8月6日 ③9月10日 ④10月18・19日(徳島県) 全国保育士会研究大会

連続研修会・主任保育士研修会 11月2日 中堅保育士研修会 「保育で活かせるエアロピクス」 講師 早川久子氏

11月7・9日(北海道) 全国保育研究大会

19年度事業計画(案)は4月の総会において決定致しました。

保育士の学びシリーズ⑥

保育第三者評価

マニュアルはなぜ必要か

心の結びつきめざして —地域活動—



平成18年4月に開園した
ドリーム保育園は、子育て

お迎えし、子育ての楽しさ
や喜びが伝わるトークで聞

く側をピュアな気持ちにさ

放、カーニバルの日、

年3・4回のふれあい

広場を行事予定にいれ

ました。しかし当初は

わずかな参加者で地域

の方との距離を感じる

ものでした。そこで、

元NHK歌のお兄さん

新井宗平さん、歌のお

姉さん山本かずみさん

に来ていただき、七夕

コンサートを企画しました。

心を込めて作った笹飾り

が150人の地域の方々を

組んだ手作りの「流しうど

遊びに来て下さい」と伝え

てくれました。日をあけ

ず、食育の観点から、竹を

遊ぶ一年でしたが、次年度は

保育園と地域との交流が深

められた様な子育て支援に

遊び園と地域の方々との距離

を縮めることができました。

地域との関係は新設園な

のでまだ希薄で、「こ

こに保育園が出来ました。

遊び園と地域との交流が深

められる様な子育て支援に

遊びに来て下さい」と伝え

る一年でしたが、次年度は

保育園と地域との交流が深

められる様な子育て支援に

遊びに来て下さい」と伝え

る一年でしたが、次年度は

保育園と地域との交流が深

められる様な子育て支援に

遊びに来て下さい」と伝え

る一年でしたが、次年度は

保育園と地域との交流が深

められる様な子育て支援に

遊びに来て下さい」と伝え

る一年でしたが、次年度は

保育園と地域との交流が深

められる様な子育て支援に

ん会」も開催しました。
また、9月末には、近くの体育館でミニ運動会を行ない、子育てサークルの親園児が一緒に、大きな4つの輪を作り、リトミックを行いました。さらに、園庭開放や自然素材を使った物作り中心のカーニバルは、保育園と地域の方々との距離を縮めることができました。

地域との関係は新設園なのでまだ希薄で、「ここに保育園が出来ました。

遊び園と地域との交流が深められる様な子育て支援に遊びに来て下さい」と伝え

る一年でしたが、次年度は保育園と地域との交流が深められる様な子育て支援に遊びに来て下さい」と伝え

